

# ISO/IEC JTC3の動向について (JTC3 : Joint Technical Committee 3)

2024年10月4日

(一社) 量子技術による新産業創出協議会(Q-STAR)

標準化連携/提案WG

比嘉正人

## ・2022/10 英国より新たなJTCとしてJTC-Qの設立提案

→IEC/SEG14では当初はネガティブな反応であったものの、その後、設立提案の主旨が理解され、SEG 14として支持するに至り、IEC内において、SEG 14より新JTC設立をSMBに対して推奨（2023年5月）

## ・2023/11 英国より再度新JTC設置の是非等を問う提案が出され、各国の投票結果を受けて、ISO/TMBとIEC/SMBとの間で設置に合意

→これに伴い、IEC/SEG14はJTC3にロードマップ策定を引き渡す形で終了。JTC1/WG14はJTC3に合流

## ・ISOとIECによる合同専門委員会として設置（2023年12月）

タイトル	Standardization in the field of quantum technologies
スコープ	量子技術分野における標準化量子情報技術（量子コンピューティングおよび量子シミュレーション） 量子計測、量子源、量子検出器、量子通信、基本量子技術を含む
対象外	情報技術（JTC 1）、ナノテクノロジー（IEC TC 113とISO TC 229） 光ファイバー（IEC TC 86）、超低温容器（ISO TC 220）、半導体（IEC TC 47）

## ・メンバーシップ

議長	韓国 Haeseong Lee教授
幹事国	英国（BSI：英国規格協会）
Pメンバー国（投票権あり）	25
Oメンバー国（投票権なし）	9
Delegate登録数	81（中国17、韓国11、米国11、フランス8、日本7、ロシア5、デンマーク4、英国3 ドイツ3、オランダ3、オーストラリア2）

# JTC3へのQ-STAR（産業界）の取組（現在・今後）

## JTC3設立前

- ・経産省/JSAの委託を受けて、量子技術関連の標準化動向を調査（2022～。主な動向対象はIEEE、IEC/SEG14）
- ・JTC3の設立の動きを受けて、調査メンバを拡充して対応を協議

## JTC3設立後（現在まで）

- ・国内審議団体/国内委員会設置の検討(→Q-STARとして審議団体申請検討、準備中)
- ・キックオフ会合に向けて対応検討
- ・キックオフ会合における日本提案(量子コンピューティングにおけるユースケースベースのベンチマークの提案)
- ・次回会合に向けた準備

## JTC3設立後（今後）

- ・国内審議団体/国内委員会立ち上げ
- ・次回会合へのメンバ派遣
- ・取り組むべき標準化のスコープ・テーマ議論

**END**

